

《第 69 号》***岩手県内図書館トピックス***

岩手医科大学附属図書館は、県内唯一の医学図書館として、一般の方向けの医療情報コーナー設置の他、県内の図書館と連携した医療情報提供などを進めており、平成 28 年より、医療・健康情報をテーマとした連携企画展示に取り組んでいます。同時期に同一テーマについて、各館の特色を活かした展示をすることで、ハシゴして楽しみながら学べるような企画となっています。医師に相談しづらいことでも、先ず自分で調べてみる事ができる公共図書館は、あらゆる専門情報の窓口として、市民が気軽に足を運べる場所です。医療機関と図書館がうまく連携することで、県民の健康づくりの一助となることを目指しています。

さて、岩手県内には、「岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会」の会員だけで 76 の図書館があります。その中から、今注目の公共図書館にスポットを当ててご紹介したいと思います。

【紫波町図書館】

Library of the year2016 優秀賞に輝き、現在進行形で日本中から注目を浴びている図書館です。児童サービス、郷土資料の収集、産業支援の三本柱を軸にした図書館サービスは、オガールプロジェクトの中核として地方創生の面でも話題になっています。農業支援としての「出張としょかん」、日中なかなか図書館に来られない人のための「夜のとしょかん」、図書館での調査能力を身につける「調べる学習コンクール」など、楽しく学べるイベントが目白押しです。隣接する産直「紫波マルシェ」の売り場各所に、おすすめの料理本が紹介されるなど斬新なサービスを展開し、町外からの来訪者も魅了しています。蔵書の 1 冊 1 冊、その時々々の企画展示にも司書の仕事ぶりが感じられ、来館者を満足させてくれる創意工夫がいっぱいです。

【一関市立図書館】

一関市内には 8 館の図書館があり、平成 29 年度資料費(1億円)は、10～15 万人規模の自治体では千葉県成田市に次いで全国 2 位の水準です。中心となる一関図書館は平成 26 年に新館オープンし、平成 28 年度年間貸出数 441,074 冊と県内 1 位を誇ります。蔵書は 28 万冊を超え、県外からの利用や他館への貸出なども多く、地域に留まらない図書館活動を行なっています。その他、花泉図書館、川崎図書館も貸出数が多く、蔵書、空間ともに人気があります。

【陸前高田市立図書館】

東日本大震災で建物が全壊、仮設図書館を経て平成 29 年 7 月、商業施設であるアバッセたかたに隣接の新館がオープンしました。図書約 6 万 5,000 冊、CD・DVD 約 4,500 点でのスタートです。テラスや芝生の広場はくつろぎの空間を、商業施設側のショーウィンドウはセレクトショップのようなおしゃれな空間を演出しています。書架や椅子、照明にもこだわり抜いたデザインや素材を使用し、隣接するカフェから飲み物を持ち込むこともできる居心地の良いスペースとなっています。寄付やボランティアなど多くの人の思いが集まった待望の図書館は、一見の価値あります。

図書館トリア

岩手県立図書館では、2 月 23 日より 4 月 15 日まで企画展「岩手の医学」を開催中です。創立 120 周年を迎えた本学の「岩手病院、岩手医学校、岩手看護婦養成所、岩手産婆学校及ヒ其他ノ事業十年間経営概要報告」(明治 40 年)や大槻玄沢、建部清庵などの著書、三田俊次郎先生が使用した医療器具、顕微鏡などが並ぶ貴重な展示となっています。医学の歴史、岩手の歴史と共にあった本学のあゆみに触れることができます。

同時開催のミニ展示「図書館で見つける！医療情報」では、本学医療情報コーナーや、分館の企画展示が紹介されています。併せてご覧ください。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 tosho@j.iwate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館